

家の お手入れ



電気器具のコードの断線を直す

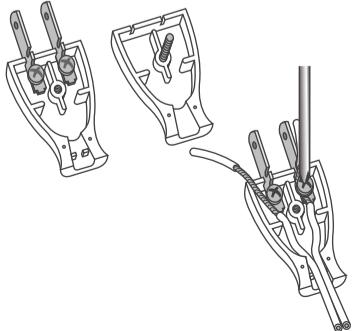
電気器具のプラグをコンセントに差し込んでも作動しない場合、コードを動かしてみて、電気が入ったり切れたりする場合はコードの断線と考えられます。また、プラグが熱くなるのも電気がうまく通じていない証拠。そのまま使っていると、ひどい場合は火災の原因になることもあります。コードやプラグの異常に気がついたら、すぐに補修してください。

コードの断線はプラグ交換で直す

昔の電気器具についていたプラグはドライバーでネジをゆるめれば分解できる形状でしたが、最近の電気器具のはほとんどはモールド式プラグと呼ばれる塩化ビニールなどでコードと一緒に成型になっているプラグがほとんどで、分解することができません。そんな場合は、断線しているコードをプラグごと切り取り、新しいプラグに交換すれば直ります。電気器具に使われているコードにはいろいろな種類がありますが、プラグのつけ方は基本的に同じ。コードコネクター、テーブルタップ、電気ゴタツなどの中間スイッチにコードをつける方法も同じです。

「ベターキャップ」タイプのプラグ

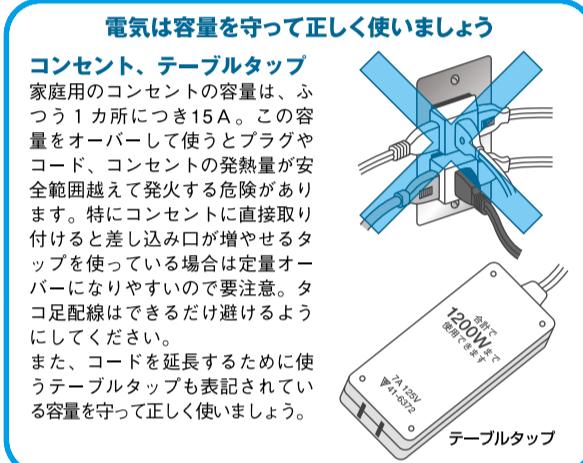
従来のプラグはプラスチックケースのネジをはずすとケースと差し込み金具がバラバラになるため、慣れないときケースにおさめてフタをするときにうまくいかなかったり、使っているうちにプラグの中で芯線がはずれてショートするおそれもあります。その点「ベターキャップ」タイプはお薦め。ケースを開けても一方のケースに差し込み金具が固定させてるので、コードの接続が楽にできるうえ、コードを止めるネジの下にゆるみ止め効果のあるスプリングワッシャーがついているためゆるみにくく、ショートの心配もほとんどありません。



キャブタイヤコードのプラグ交換

ビニールで被膜したコードをさらにゴムやビニールで覆い、折り曲げや衝撃に強くしたタイプで、掃除機や電動工具などに使われています。この場合のプラグ交換には、キャブタイヤ長円型コードなら袋打ちコードに使用するプラグを、直径6cm以上あるキャブタイヤ丸型コードの場合はゴムキャップや防水ゴムキャップを使用します。ここではゴムキャップの取り付け方を説明しますが、防水ゴムキャップもほとんど同じ方法で取り付けることができます。

- 1 ゴムキャップの周囲のゴムを広げてめくり、ゴムカバーをはずしてプラグ部分を取り出す。このとき、ゴムカバーがはずしにくければマイナスドライバーをすき間に差し込んでこじ起こすとよい。
- 2 ゴムカバーのバンドについているネジをゆるめて断線部分で切ったキャブタイヤコードを通し、コードの先から6cmくらいの箇所の外側の被膜を切る。このとき、切る部分のコードを折り曲げてニッパーの先で少しづつ被膜をちぎるようにして周囲を切ってからニッパーの刃で軽くつかんで引き抜くとうまくいく。
- 3 ビニール平行コードと同じように2本のコードの被膜を切って2cmほどむいてから右にねじり、最初にはずしたプラグのネジに巻き付けてから余分なコードを切る。その後、コードをひっぱってプラグをゴムカバーに元通りに収め、バンドのネジを締める。

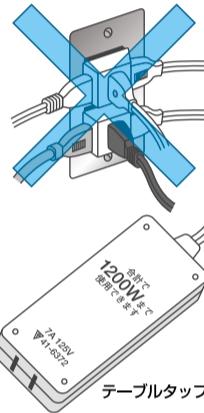


電気は容量を守って正しく使いましょう

コンセント、テーブルタップ

家庭用のコンセントの容量は、ふつう1カ所につき15A。この容量をオーバーして使うとプラグやコード、コンセントの発熱量が安全範囲越えて発火する危険があります。特にコンセントに直接取り付けると差し込み口が増やせるタップを使っている場合は定量オーバーになりやすいので要注意。タコ足配線はできるだけ避けるようにしてください。

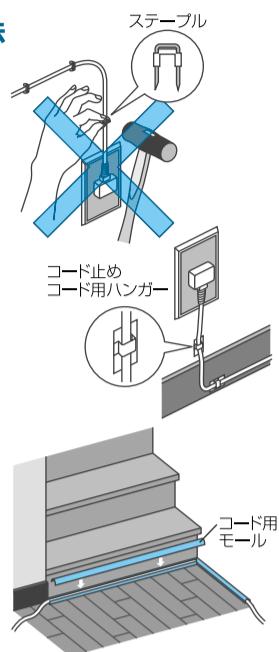
また、コードを延長するために使うテーブルタップも表記されている容量を守って正しく使いましょう。



電気器具のコードの断線を直す

じゃまなコードの固定法

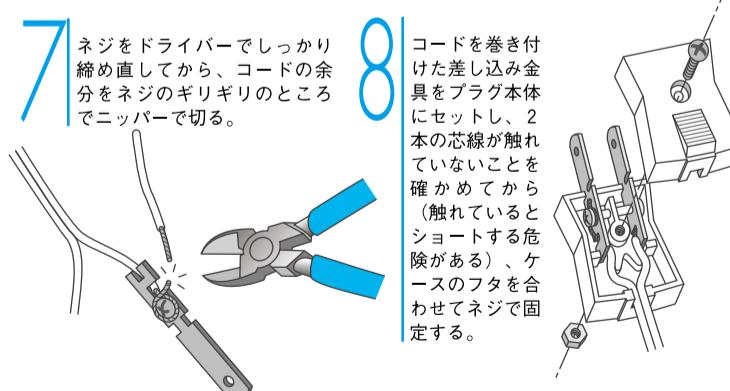
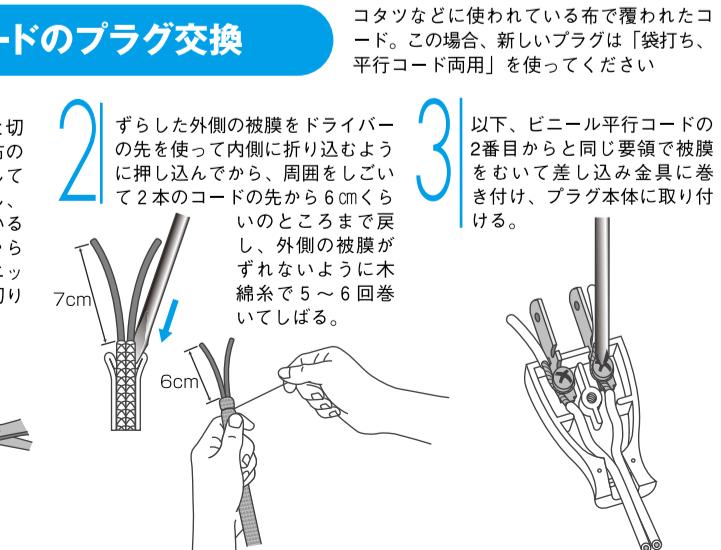
電気器具のコードが床をはっていると足を引っかけるなどして危険なうえ、見た目も美しくありません。かといってブロのように、ステープルという工具を使ってコードを固定する工事を素人が行うことは法律で禁止されています。感電やショートの危険があるので、絶対に自分で行わないようにしてください。コードの処理を家庭で行いたい場合は、「コード止め」や「コード用ハンガー」と呼ばれる製品を使いましょう。これは裏の粘着シールをがして床や壁に貼り付けてから、コードをはさんで先を少し折り曲げるようにして固定するようになっています。これならコードを傷つけることなく安全かつ合法に固定できます。



ビニール平行コードのプラグ交換

一般的な電気器具に使われているタイプで、2本のコードが平行にくっついているのが特徴。

- 1 断線していると思われる箇所をプラグごとニッパーかペンチで切り取る。
- 2 切ったコードの先端にニッパー（あるいはカッターかハサミ）で切り込みを入れ6cmくらい裂いて2本に分ける。
- 3 コードをテーブルなど台の上に置き、先から5cmくらいのところにカッターの刃を軽く当て、コードを転がしながらビニール被膜に切り込みを入れる。このとき、芯線を切らないように気をつけること。
- 4 切り込み部分をニッパーで軽くつかみ、左手の親指で押しながら被膜を2cmほどむく。この際も、芯線を切らないように注意。2~3本切れても問題ないが、何本も切れたらもう一度コードを切ってやり直す。
- 5 先端の被膜を指でつまんで右にまわし芯線をしっかりとねじる。このようにビニール被膜を残しておくと芯線がバラバラにならず、きれいにねじることができる。



袋打ちコードのプラグ交換

- 1 断線部分をプラグごと切り取った後、外側の布の被膜をしごくようにして7cmくらい下にずらし、中のコードを覆っている白い布の被膜の先から7cmくらいの周囲をニッパーかハサミの先で切り取って被膜を取る。
- 2 ざらした外側の被膜をドライバーの先を使って内側に折り込むように押し込んでから、周囲をしごいて2本のコードの先から6cmくらいのところまで戻し、外側の被膜がずれないように木綿糸で5~6回巻いてしばる。
- 3 以下、ビニール平行コードの2番目から同じ要領で被膜をむいて差し込み金具に巻き付け、プラグ本体に取り付ける。

電気は容量を守って正しく使いましょう

プラグ

コードが断線してプラグを交換する場合は、まず、はじめからついていたプラグをチェックしてください。そこには6Aや7A、12Aといったように容量が記入されています。新しいプラグはそれと同じか、それよりも大きな容量のものを選ぶことが必要です。現在、市販されているプラグのはほとんどは15Aなのでそれを使えば問題ないでしょう。中には20Aのものも市販されています。

